

奈井江町農業委員会 農業委員候補者の推薦及び応募状況（最終：令和8年4月30日締切）

(1) 地区・全体からの推薦

被推薦者						推薦者					
氏名	年齢	職業	性別	経歴		農業経営の状況	認定 農業者	地区 全体の推薦	氏名	職業	推薦理由
				年月日	職名等						
杉本 雄馬	48	農業	男	H10.4~	就農 ゆめびりか生産協議会会長（現在） 奈井江町農業委員（現在）	水稻・小麦・メロン 経営面積 28ha	該当	瑞穂連合区	西田 悦史	農業	瑞穂連合区による推薦。地域農業の担い手としてのリーダーシップと関係機関との連携能力は高く評価されている。
				R7.2~					東藤 勝行	農業	
				R5.7~					大西 俊一	農業	
大西 暁陽	46	農業	男	H12.4~	就農 奈井江町農民協議会（11年）	水稻・麦・大豆 経営面積 25ha	該当	茶志内連合区	江口 敏文	農業	茶志内連合区による推薦。
				H26.12~					栗山 裕輝	農業	
									—	—	
山田 豊	58	農業	男	H元.4~	就農 奈井江町農業委員（現在）	水稻・大豆 経営面積 23ha	該当	茶志内連合区	江口 敏文	農業	茶志内連合区による推薦。現職の委員として活躍中。
				R2.7~					—	—	
									—	—	
鈴木 康永	45	農業	男	H19.4~	就農 奈井江町農業委員（現在）	水稻・ミニトマト 経営面積 12ha	該当	宮村・巖島連合区	山中 重利	農業	宮村・巖島連合区による推薦。現職の委員として活躍中。
				R2.7~					笹木 修治	農業	
									小林 篤	農業	
伊藤 弘	58	農業	男	S60.4~	就農 奈井江町農業委員（現在）	水稻・小麦 経営面積 20ha	該当	高島連合区	吉井 弘三	農業	高島連合区による推薦。現職の委員として活躍中で、さらに現在は会長代理の職を務めていることから継続して推薦する。
				R2.7~					—	—	
									—	—	
森 謙一	55	農業	男	H5~	就農 奈井江農業振興会役員 奈井江町農業委員（現在）	水稻・麦 経営面積 19ha	該当	大和連合区	堀 浩二	農業	大和連合区による推薦。現職の委員として活躍中。地域のリーダーとしてまとめて頂きたい。
				H7.4~					大澤 耕一	農業	
				R5.7~					林 博美	農業	
北 祐次郎	49	農業	男	H9.4~	就農	水稻・ミニトマト 経営面積 16ha	該当	白山連合区	三角 敏夫	農業	白山連合区による推薦。農業経営者として健全経営を営んでいる。
									奥村 吉輝	農業	
									笹木謙一郎	農業	

(2) 農業者が組織する団体からの推薦

被推薦者						推薦団体							
氏名	年齢	職業	性別	経歴		農業経営の状況	認定 農業者	名称	代表者	活動目的	構成		推薦理由
				年月日	職名等						人数	資格	
堀 政博	49	農業	男	H9.3	北海道立農業大学校卒業 就農 北海道農業士（現在） 北海道土地改良区理事（現在） 奈井江町農業委員（現在）	水稻・施設園芸 経営面積 35ha	該当	北海道土地改良区	理事長 林 孝友	農業生産力の増進と地域農業者の経済力・社会的地位の向上を図る。	1,604人	北海道土地改良区管内に住所又は耕作地を有する農業者	長年農業に従事し農業に精通しており、平成18年から北海道農業士として地域の担い手となる優れた能力を有し、経営改善や地域農業の振興等に積極的に参加されており、地元組合員及び役員からの信頼も厚く、現在当改良区理事の立場でもあります。また現在、当改良区から農業委員として推薦・就任しており、町農業の振興・発展の一翼を担う農業委員として適任である。
				H9.4~									
				H18.3~									
				H29.9~									
				H29.7~									
後藤 臣作	61	農業	男	S61.3	北海道拓殖短期大学卒業 就農 新砂川農協 非常勤理事	水稻・小麦・大豆 経営面積 51ha	該当	新砂川 農業協同組合	代表理事組合長 林 誠	総合農業協同組合	501人	奈井江町内に居住し、正組合員である者	農業に関する識見を有し、農業委員としての職務を適切に行うことができる者である。
				H8.9~									
				R2.4~									

(3) 一般募集

氏名	年齢	職業	性別	経歴		農業経営の状況	応募理由
				年月日	職名等		
山中 純枝	64	事務職	女	H14.11~ R5.7~	新砂川農業協同組合営農課勤務（現在） 奈井江町農業委員（現在）	なし	2027（R9）年度から「水田活用の直接支払交付金」の制度が作付けに応じた定額支援から、麦・大豆等の収量に応じた支援へと変わります。記録的な猛暑、異常気象、野生鳥獣による食害など、農業を取り巻く環境はたいへん厳しいなか、農家の皆さんが日々努力されている様子を身近に感じ食に関わる問題に参加できればと思います。